

FY23 Q2 決算発表後に多かったご質問とご回答

全体

Q B/S におけるキャッシュの水準が大きくなっていますが、今後のキャッシュの使い道を株主還元も絡めてご説明ください。

A 長期成長に資する投資を最優先とし、内部投資に加え、M&A についても積極的に機会の探索をしています。こうした背景から、手元のキャッシュについては厚めに保有している状況です。一方でキャッシュフローベースでの余剰資金を株主の皆様へ還元する方針に変更はございません。

Q 2023 年 7 月に情報システム事業を譲渡していますが、今後も事業ポートフォリオの整理はおこなうのでしょうか？

A 当社は、眼科領域/メドテック/情報通信という 3 つの事業領域に焦点を当てております。これらの事業領域との関連性やシナジーが薄い製品・サービスや、競争優位性の発揮が長期的に困難な事業については検討をおこなってまいります。

Q CO2 の排出について、SBT(Scienced Based Targets)を設定する計画はありますか？

A 現状、当社の CO2 排出量削減目標は Scope 1 ならびに Scope 2 を対象としています（同目標については[こちら](#)をご参照ください）。SBT の設定には Scope 3 の開示が必須であると認識していますので、当面は Scope 3 のデータ収集に注力し、一定のデータの収集と開示が進んだ段階で SBT 設定の検証と検討を進めていく予定です。

メガネレンズ

Q MiYOSMART(近視進行抑制レンズ) の販売が中国市場を中心に好調とのことですが、他地域への展開はしないのでしょうか？

A 欧州やアジア各国を含む 30 カ国以上で既に販売をしています。依然として中国市場の売上が大きい状況ですが、欧州の一部での国での売上が伸長してきています。一方で、主要市場のうち、米国と日本が未認証のため、引き続きこれに必要な手続きを進めてまいります。

コンタクトレンズ

Q プライベートブランド(PB)製品の販売状況はいかがですか？また、海外展開の予定はないのでしょうか？

A 順調に販売を伸ばしており、デイリーレンズ売上において 2 割強を占めています。将来的にメーカーとして海外展開をすることも視野に戦略の検討をおこなっています。

ブランクス

Q Q1 から QoQ で売上が 2 桁回復したとのことですが、在庫調整は終わったという認識でしょうか？

今後も QoQ で成長が続く想定でしょうか？

A EUV ブランクスにおいて、主要顧客 1 社の在庫調整が完了したという認識です。在庫調整が継続している顧客もありますため、Q3 以降については、Q1 から Q2 の時のような大幅な回復ではなく、緩やかな回復を見込んでいます。

Q EUV ブランクスの競争環境に変化はありますか？

A 足元において目立った変化は見られていませんが、今後も新規参入も含めて注視を続けてまいります。

HDD 基板

Q Q2 も減収が続きました。データセンターの需要は徐々に回復に向かっていると聞きますが、当社の HDD 向け基板の需要回復はいつぐらいになりそうでしょうか？

A ハイパースケーラーによる AI サーバー投資継続によりストレージへの投資が抑制されている認識で、依然として見通しが不透明な状況です。以上のことから、HDD 基板の需要としては、Q2 の水準が年度内に継続する前提としています。

Q 主要顧客が次世代技術 HAMR(Heat-assisted Magnetic Recording)を搭載した製品の発売について発表していますが、これによる当社 HDD 基板事業への影響はどのようなものとなりますでしょうか？

A 最終製品（HDD）の状況については、HDD メーカーの発表内容等を確認いただきたいと思います。同技術の製品化にはガラス基板が必須であるため、ガラス基板を採用する製品や HDD メーカーの裾野が広がることを期待しています。

以上

将来予測に関する記述

当社は、将来計画および業績見通しに関する情報の言及や情報開示を行う場合があります。

歴史的事実に関するものを除く全ての記述は、将来予測と見做される可能性があり、資料作成時点における経営者の想定や入手しうる情報に基づくものです。これには、為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上/収益性/設備投資/キャッシュ/その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、臨床または研究開発能力、顧客の行動または商慣習、医療費償還制度、現在問題となっている新型コロナウイルスをはじめとする疫病や健康問題などの影響を含みます。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。また、新たな情報や将来の出来事などの結果を受けて、将来予測に関する記述を更新する義務を負いません。

お問い合わせ先:h-ir@hoya.com